

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2024
AUGUST

No. 3

Thu. 15th August
Karuzawa Series

Special
Concert

Fri. 30th August

No. 723

Sat. 31st August
Subscription Concert

80



Jonathan Nott, Music Director



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶 ユベール・スターン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス◆ 上田 仁◆ 遠山信二◆
名誉コンサートマスター	大谷康子
第1コンサートマスター	小林壹成 グレプ・ニキティン
コンサートマスター	田尻 順

会長	澤田秀雄
理事長	岡崎哲也
副理事長	平澤 創 依田 巽
専務理事	廣岡克隆
理事	阿部武彦 辻 敏 池辺晋一郎 永山 治 伊藤美樹 夏野 剛 大橋 博 南部靖之 コシノジュンコ 福川伸次 菅谷貴子 増岡聡一郎 竹中平蔵 森 京子
監 事	寺西基之 渡邊芳樹
評議員長	金山茂人
最高顧問	
評議員	梅沢一彦 星 久人 鷲海量明 山添 茂 片山泰輔 芳野まい 加藤英輔
特別顧問	飯島延浩 草壁悟朗 福田紀彦

【ハーブ寄贈:環境ステーション株式会社】

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 小山あずさ
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理

2nd Violins

- ◎清水泰明
- ◎服部亜矢子
- 加藤まな
- 福留史純
- 河裾あずさ
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 辻田薫り
- 阿部真弓
- 坂井みどり
- 塩谷しずか
- 渡辺裕子

Violas

- ◎青木篤子
- ◎武生直子
- ◎西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 新井瑞穂*
- 金田澁司*

Cellos

- ☆伊藤文嗣
- 回笹沼 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行●
- 樋口泰世
- 福崎茉莉子

Double Basses

- 回助川 龍
- ◎コーディ・ローズブーム
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子

Flutes

- ◎相澤政宏
- ◎竹山 愛

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- ◎荒 絵理子
- 浦脇健太
- ◎荒木良太*

Oboe&English horn

- 最上峰行

Clarinets

- ◎エマニュエル・ヌヴェー
- ◎吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- ◎福士マリ子
- ◎福井 蔵
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- ◎上間善之
- 加藤智浩
- 溝根伸吾
- 白井有琳*

Trumpets

- ◎澤田真人
- 野沢岳史●
- 松山 萌
- ◎ローリー ディラン*

Trombones

- ◎大馬直人
- ◎鳥塚心輔
- 住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Tuba

- 近藤陽一

Timpani& Percussions

- ◎清水 太
- ◎山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Librarians

- 林 知也
- 加藤幸子

Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

名誉団員

- 井伊 準◆

楽団長

- 廣岡克隆

編成局シニア・ディレクター

- 藤原 真

パーソネル・マネージャー

- 謝名元 民

楽団委員

- 小西応興(議長)
- 福留史純(書記)
- 清水泰明
- 多井千洋
- 北村一平
- 藤井良太

事務局長

- 辻 敏

事務局

- 尾木貴雄
- 梶川純子
- 市川萌都
- 伊藤瑛海
- 櫻 日向
- 小川博司
- 桐原美砂
- 高瀬 緑
- 長久保宏太郎
- 山田道子
- 三橋真琴*

名誉団友

- 深江泰輔◆
- 三木晴雄◆

団 友

- 天野佳和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 石川晴依世
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原未莉
- 内田彬雄
- 内田乃剛子
- 宇部 実
- 梅田 学
- 大隅雅人
- 大塚正昭
- 大笠展男
- 大和田浩明
- 大和田ルース
- 小川さえ子
- 萩野 昇
- 奥田昌史
- 音川健二
- 加藤谷直美
- 笠原勝二
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 黄原亮司
- 小林雨雄
- 小林亮子
- 阪本正彦
- 佐川聖二
- 佐々木真
- 藤野明彦
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 曾根敦子
- 武田英昭
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 豊山 悟
- 中塚和良
- 中塚博則
- 中山 智
- 西依智子
- 西脇秀治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原田美保子
- 日野 奏
- ペアンテ・
- ポーマン
- 前田健一郎
- 松崎里絵
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺 功
- 渡辺哲郎

☆ソロ首席奏者 回客演首席奏者 ◎首席奏者 ○フォアシューパー ●インスペクター

■本部長 □シニア・ディレクター *研究員・準事務局員 ◆故人

演奏会でのお願い

Concert Manner Guide



チケットに記載された座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



開演前に電子機器の電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



周囲の視界を遮るような行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い／高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



開演後の入場を制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



演奏中の飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は、場内に響きますのでご遠慮下さい。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご配慮下さい。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



咳、くしゃみをする際はハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



曲の余韻も演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

8/15 Thu.

軽井沢シリーズ 第3回 Karuizawa Series No.3

0歳からのコンサート 2024年8月15日(木) 11:00 軽井沢大賀ホール
Thu. 15th August 2024, 11:00 Karuizawa Ohga Hall

東京交響楽団 金管五重奏団 [金管五重奏]
原田慶太楼 [お話]
山下 守 [監修]

Tokyo Symphony Brass Quintet, Brass quintet
HARADA Keitaro, Speaker
YAMASHITA Mamoru, Supervisor

- ・ ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲
- ・ ファーナビー: 「フィッツウィリアム・ヴァージナル・ブック」より
いにしへのスペイン舞曲、休息、新しいサファー
- ・ 三木たかし: アンパンマンのマーチ、アンパンマンたいそう
- ・ ジャン=フィリップ・ラモー: フレール・ジャック
- ・ 小嶋くるみ: しあわせなら手をたたこう
- ・ アラン・メンケン: 「リトル・マーメイド」より アンダー・ザ・シー
- ・ 久石 譲: 「となりのトトロ」メドレー

オーケストラコンサート 2024年8月15日(木) 17:00 軽井沢大賀ホール
Thu. 15th August 2024, 17:00 Karuizawa Ohga Hall

原田慶太楼 [指揮]
林 美智子 [メゾソプラノ]
小林啓成 [コンサートマスター]

HARADA Keitaro, Conductor
HAYASHI Michiko, Mezzo-soprano
KOBAYASHI Issey, Concertmaster

スメタナ: 交響詩「我が祖国」より
第2曲 “モルダウ” (13')

B. Smetana: “Má Vlast” The Moldau (13')

ショーソン: 愛と海の詩 op.19 (25')

E. Chausson: Poème de l'amour et de
la mer op.19 (25')

休憩 (20')

Intermission (20')

シュトラウスⅡ: 「こうもり」序曲 (10')

J. Strauss II: “Die Fledermaus” overture (10')

シュトラウスⅡ: 春の声 (8')

J. Strauss II: Frühlingsstimmen op.410 (8')

サティ (編曲: 山本菜摘): ジュ・トゥ・ヴ (3')

E. Satie (Arr. YAMAMOTO N.): Je te veux (3')

メンデルスゾーン: 「真夏の夜の夢」
op.61より (23')

F. Mendelssohn:
Ein Sommernachtstraum op.61 (23')

I. スケルツォ
II. 間奏曲
III. 夜想曲
IV. 結婚行進曲

I. Scherzo
II. Intermezzo
III. Notturmo
IV. Hochzeitsmarsch

- 主催/公益財団法人東京交響楽団
- 特別協賛/医療法人葵鐘会
- 後援/軽井沢新聞社、一般社団法人軽井沢観光協会、FM軽井沢、軽井沢町教育委員会

楽曲解説はP.07をご覧ください

8/15 Thu.



© 37 Frames

HARADA Keitaro

Conductor

原田慶太楼 [指揮]

Permanent Conductor
正指揮者

欧米を中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。東京交響楽団正指揮者。シンシナティ響、アリゾナ・オペラ、リッチモンド響のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンからサヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督に就任し27年シーズンまで更新されている。また2024年4月より愛知室内オーケストラの首席客演指揮者兼アーティスティック・パートナーに就任。

オペラでもアリゾナやノースカロライナ、ブルガリア国立歌劇場等で活躍。

2010年タンブルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、2013年B・ワルター指揮者レビュー賞、米国シヨルティ財団キャリア支援賞6度、2023年には日本人初となるトップのコンダクター賞を受賞。2009年キャットソルトン・フェスティバルにL・マゼールの招待を受けて参加。

第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

kharada.com/ @KHconductor

Keitaro Harada is named Music and Artistic Director Designate for Dayton Philharmonic for the 2024-26 season, Harada will begin a five-year tenure as Music and Artistic Director with the 2026-28 season. As Music Director of the Savannah Philharmonic since the 2020-21 season, Harada has transformed the orchestra and energized its audiences throughout the community with his imaginative programs and charismatic presence. In 2024, Harada became Permanent Conductor of the Tokyo Symphony Orchestra. He has forged a close connection with the NHK Symphony Orchestra with whom he appears frequently and has recorded three albums. Also in 2024, Harada became Principal Guest Conductor and Artistic Partner for the Aichi Chamber Orchestra. His eclectic musical scope ranges from symphony, opera, and chamber music to pops, film scores, educational outreach, and multidisciplinary projects, all of which enrich his programming.

澤田真人 SAWADA Masato 【首席トランペット奏者】

千葉県出身。10歳からトランペットをはじめ。東京音楽大学卒業。東京交響楽団と2014年11月アルチュニアン「トランペット協奏曲」、2019年10月にはコーブランドの「静かな都市」、2022年5月にショスタコーヴィチ「ピアノとトランペット、弦楽合奏のための協奏曲」で共演。第16回日本管打楽器コンクール入賞。トランペットを津堅直弘氏に師事。名古屋フィルハーモニー交響楽団首席トランペット奏者を経て、現在東京交響楽団首席トランペット奏者。オーケストラ活動を中心に、金管アンサンブル「侍BRASS」のメンバーとしても活躍している。東海大学教養学部講師、洗足音楽大学非常勤講師。



松山萌 MATSUYAMA Moe 【トランペット奏者】

島根県出身。東京藝術大学卒業、学内にてアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。第30回日本管打楽器コンクール第1位及び文部科学大臣賞、東京都知事賞受賞。第14回東京音楽コンクール金管部門入選。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。The Schilke Fiveメンバー、ARK BRASSアソシエイトプレイヤー、ズーラシアンプラスお友達プレイヤー。これまでにトランペットを小曲俊之、佛坂咲千生、杉木峯夫、早坂宏明、古田俊博、佐藤友紀、橋本浩規の各氏に師事。藝大フィルハーモニア管弦楽団(東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師)を経て、東京交響楽団に入団、現在に至る。



上間善之 UEMA Yoshiyuki 【首席ホルン奏者】

沖縄県出身。沖縄県立芸術大学卒業、桐朋学園大学研究科終了。ホルンを故 安原正幸氏に師事。シュガーホール新人演奏会優秀賞受賞、第17回日本管打楽器コンクール、第71回日本音楽コンクール、第20回日本管打楽器コンクール、それぞれ入賞。仙台フィルハーモニー管弦楽団を経て、東京交響楽団首席奏者。洗足学園音楽大学非常勤講師。ジャパンホルンクインテット、アレキサンダーホルンアンサンブルジャパン、各メンバー。



住川佳祐 SUMIKAWA Keisuke 【トロンボーン奏者】

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学在学中にN響アカデミーを卒業。第4回トロンボーンフルテットコンクール・イン・ジパングにおいて、Trombone Quartet CUBEとして第1位。J.アレッシ氏のマスタークラスを受講。これまでにトロンボーンを、古賀慎治、石川 浩、清澄貴之、古賀 光、新田幹男の各氏に師事。神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約団員(1、2、3番奏者)を経て東京交響楽団入団、現在に至る。



近藤陽一 KONDO Yoichi 【チューバ奏者】

千葉県出身。9歳からチューバを始める。国立音楽大学卒業、東京芸術大学大学院修了。第24回日本管打楽器コンクール・チューバ部門第3位、第27回日本管打楽器コンクール入選、第12回コンセルマロニエ21金管楽器部門第1位。これまでにチューバを稲川榮一、柏田良典の各氏に師事。大阪市音楽団、日本センチュリー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラを経て、現在に至る。



山下守 YAMASHITA Mamoru

愛知県出身。名古屋大学医学部医学科、慶応義塾大学大学院経営管理科学研究科修士課程卒業。PhD医学博士(名古屋大学)、MBA 経営管理修士(慶應義塾大学)、日本産婦人科学会認定専門医。名古屋大学環境病院産婦人科勤務を経て、2007年医療法人葵鐘会を設立しCEOに就任。地域に根ざした産科医療施設を各所に整備、全国で類を見ない産婦人科医療グループとして年間約10,300件の分娩数を誇る。また日本の周産期医療のアウトバウンドを東南アジア、アフリカで進めている。趣味はクラシック音楽鑑賞。専門は周産期、婦人科腫瘍、麻酔科、医療経営学。2022年より一般社団法人 愛知室内オーケストラ理事就任。



8/15 Thu.



©Toru Hirawa

HAYASHI Michiko

Mezzo-soprano

林 美智子

[メゾソプラノ]

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。二期会、新国立劇場を中心に数多くのオペラに出演、2015年には紀尾井ホールにて「オリンピーアデ」のアルジェーネ、日生劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」エルヴィーラ役と、初役に挑み卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラに共演を重ね、また、モーツァルトのダ・ポンテ三部作オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」を自らプロデュースするなど人気、実力ともに群を抜くメゾ・ソプラノとして幅広く活動している。CDは、「赤と黒」「地球はマルイゼ〜武満徹:SONGS」、「ベル・エクサントリック〜林美智子ベル・エポック歌曲集」をリリース。大阪音楽大学特任准教授及び日本大学芸術学部声楽講師。

オフィシャル・ホームページ:<https://hayashimichiko.themedia.jp/>

Michiko Hayashi graduated from the New National Theatre Tokyo Opera Studio, and studied in Munich on a fellowship of the Japanese Ministry of Culture. She won the top prize at the 2003 Mitropoulos Competition, as well as the 5th Hotel Okura Music Award. Hayashi has captivated audiences with superb performances in numerous opera roles, including Princess Argene in 'Olimpiade' and Donna Elvira in 'Don Giovanni'. Recently she has also been producing operas, including the Mozart-Da Ponte trilogy 'Cosi Fan Tutte', 'The Marriage of Figaro', and 'Don Giovanni'. Hayashi has performed in concerts with major orchestras under the direction of renowned conductors such as Myung-whun Chung and Paavo Jarvi. Acclaimed for her richly expressive singing, Hayashi is one of Japan's most talented and popular mezzo-sopranos. Her CD releases include "Toru Takemitsu: SONGS."

Official website: <https://hayashimichiko.themedia.jp/>

ベドルジフ・スメタナ(1824～1884)

交響詩「我が祖国」より 第2曲 “モルダウ”

初のチェコ語オペラを書き、国民劇場開場に奔走して“チェコ国民音楽の父”と呼ばれたスメタナは、失聴した晩年に祖国の歴史と自然に取材した連作交響詩「我が祖国」全6曲を書き上げた。そのうち、1874年11月から12月に作曲された第2曲“モルダウ”は、チェコを南から北へ流れる大河の一生を音楽で描いている。冒頭は二つの水源を表すフルートとクラリネットの掛け合い。次いでヴァイオリンとオーボエから川の主題が示される。川岸の森の狩猟場面では角笛を模したホルンが響き、村の婚礼場面ではポルカが奏される。次いで曲は鎮まり、月光の夜の淵で妖精が踊る部分に入る。夜が明けて川は再び流れ出し最大の難所「聖ヨハネの急流」を無事通過後、堂々たる大河となってプラハ市内に流れ込み、東岸の古城へ挨拶を送る。最後は二つの和音でエルベ河に合流して終わる。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲: 1874年11月20日～12月8日

初演: 1875年4月4日アドルフ・チェフ指揮

編成: ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、トライアングル、バスドラム、シンバル、ハープ1、弦5部

エルネスト・ショーソン(1855～1899)

愛と海の詩 op.19

パリの有産階級に生まれ育ったショーソンは趣味として音楽に精通したのち、24歳でパリ音楽院に入学して作曲家に転じた。作品番号付きの作品は39作のみだが、高雅なりリズムに激情の交錯する作風はフランス楽壇で独自の位置を占める。1882年から10年がかりで書き上げられた本作は、友人の詩人モーリス・ブショール(1855-1929)の同名詩を歌詞とするオーケストラ伴奏つき歌曲で、「水の花」、間奏曲、「愛の死」の3部からなる。男性の立場から失恋の悲しみを歌いあげた歌曲だが、女声で歌われる場合が多く、詩情に富んだ歌詞が淡い色彩感のあるオーケストラ伴奏にのせて歌われる美しさは比類がない。ピアノ伴奏版もあるが、このオーケストラ版にはショーソンの洗練された管弦楽法が凝らされていて、より味わい豊かである。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲: 1882～1892年

初演: [ピアノ伴奏版] 1893年2月21日ブリュッセルにて、デジレ・デメスト(テノール)独唱、作曲者自身によるピアノ。

[オーケストラ版] 1893年4月8日パリの国民音楽協会演奏会にて、ガブリエル・マリ指揮、エレオノール・ブラン(ソプラノ)独唱。

編成: ソプラノ独唱、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、ハープ1、弦5部

8/15 Thu.

ヨハン・シュトラウス2世(1825～1899)

「こうもり」序曲

シュトラウス2世はワルツ王として大成功したのち、オペレッタ分野に進出して16作を手掛けた。「こうもり」はその最高傑作。銀行家アイゼンシュタインは、数年前、こうもりの仮装をした友人を道端に置き去りにしたことで友人の恨みを買う。そうとも知らず、その友人の仕組んだ舞踏会に出席した彼は、変装した妻を口説こうとして時計を巻き上げられ、あとで妻から散々にとっちめられる。序曲は本編の聴きどころを繋いだ名曲。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲: 1874年

初演: 1874年4月5日アン・デア・ウィーン劇場にて

編成: フルート2 (ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、小太鼓、大太鼓、チューブラベル、弦5部

ヨハン・シュトラウス2世(1825～1899)

「春の声」op.410

シュトラウス2世は彼を世に出すのに貢献した11歳年上の妻と死別し、2度目の若い妻には裏切られるが、3度目の妻アデーレによって幸福な晩年を送った。本作は1883年2月にブダペストで開かれたある晩餐会に出席した彼が即興的に書いたワルツ。当時、アデーレと恋愛中であった彼の幸福感が反映されている、と言われる。脚本家ジャネーが歌詞をつけ、序奏と4つのワルツ、コーダからなるオーケストラ伴奏付歌曲として初演された。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲: 1883年2月

初演: 1883年3月1日アン・デア・ウィーン劇場にて、作曲家自身の指揮、ピアンカ・ピアンキ独唱。

編成: ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、小太鼓、大太鼓、ハープ、弦5部

エリック・サティ(1866～1925)／山本菜摘(1998～)編曲

ジュ・トゥ・ヴ

サティは富や名声に背を向け、モンマルトルの酒場のピアノ弾きとして生計を立てつつユニークな作品を書き続けた。本作は彼が「スロー・ワルツの女王」と呼ばれたシャンソン歌手ポーレット・ダルティのために書いた歌曲が原曲。「おまえが欲しい」「あなたが大好き」の邦題より「ジュ・トゥ・ヴ Je te veux」のままで知られている。サティのワルツの中で最も美しい。編曲の山本菜摘は1998年仙台市生まれ。東京藝術大学出身。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲: 1900年

初演: 不明

編成: ソプラノ独唱、フルート2、オーボエ1、イングリッシュホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、ティンパニ、シンバル、タンブリン、小太鼓、トライアングル、ハープ、弦5部

フェリックス・メンデルスゾーン(1809～1847)

「真夏の夜の夢」op.61より スケルツォ、間奏曲、夜想曲、結婚行進曲

成功したユダヤ人銀行家の家庭に生まれたフェリックス・メンデルスゾーンは、各種学問、語学、ピアノ、ヴァイオリン、作曲、水彩画、乗馬、フェンシング、水泳、ダンス、チェスに至るまで、専門の家庭教師から英才教育を受けて各分野に才能を発揮した。1826年、17歳の彼はシェイクスピアの戯曲「真夏の夜の夢」に感銘を受け、姉との連弾用にまず序曲を作曲し、次いでオーケストラ版も書き上げた。17年後、プロイセン国王ヴィルヘルム4世から、戯曲全編の音楽を書くようにと命じられたので、かつて書いた序曲の草稿を探したが見当たらず、記憶を頼りに正確に再現した。この逸話は彼の天才ぶりを示す話としてよく知られている。こうして再現した序曲の中から、彼は主なモチーフを巧みに活用して統一感のある12曲の劇音楽を生み出す。シェイクスピアの原作戯曲は、妖精たちの魔力が強くなるとされる夏至の夜、アテネ近郊の森を舞台に、妖精の王と王妃の仲違いに巻き込まれた2組の人間カップルが魔法の惚れ薬によって相手を取り違いそうになるが、最後は本来の相手と結ばれるという物語。本日は劇音楽から4曲が演奏される。フルートの二重奏で始まる「スケルツォ」はト短調、3/8拍子。16分音符が休みなく動く気ぜわしい曲である。劇の上演時には第1幕のあとに間奏曲として演奏される。「間奏曲」は第2幕と第3幕との間に演奏される。前半はイ短調、6/8拍子で、恋人を探す乙女ハーミアの嘆きが表現され、後半はイ長調に転じて陽気な行進曲となる。「夜想曲」は2組の恋人たちが魔法をかけられてぐっすり眠り込んでいる場面に流れる音楽で、ホ長調、3/4拍子。ホルンの夢幻的な音色が夜の森の気分を誘う。トランペットのファンファーレで始まる「結婚行進曲」はハ長調、4/4拍子。紆余曲折を経て、2組のカップルがめでたく結婚式を迎える場面で演奏される。

萩谷由喜子 Text by HAGIYA Yukiko

作曲：1843年

初演：1843年10月14日ポツダム宮殿にて

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、シンバル、弦5部

8/30 FRI.

角野隼斗×上野耕平 カプースチン・スペシャルナイト

2024年8月30日(金) 19:00 サントリーホール

Kapustin Special Night

Fri. 30th. August 2024, 19:00 Suntory Hall

角野隼斗 [ピアノ]

上野耕平 [サクソフォン]

The Rev Saxophone Quartet

[サクソフォン四重奏]

竹山 愛 [フルート]

笹沼 樹 [チェロ]

大井剛史 [指揮]

小林啓成 [コンサートマスター]

SUMINO Hayato, Piano

UENO Kohei, Saxophone

The Rev Saxophone Quartet,
Saxophone quartet

TAKEYAMA Ai, Flute

SASANUMA Tatsuki, Cello

OOI Takeshi, Conductor

KOBAYASHI Issey, Concertmaster

《オール・カプースチン・プログラム》

8つの演奏会用エチュード op.40 より
第1番、第7番、第8番24の前奏曲 op.53 より(サクソフォン四重奏版)
第12番、第9番、第17番フルート、チェロとピアノのための三重奏曲
op.86

休憩(20')

サクソフォン協奏曲 op.50

ピアノ協奏曲 第2番 op.14

I.アレグロ・モルト

II.アンダンテ

III.トッカータ

《All Kapustin Program》

8 Concert Studies op.40 No.1, 7, 8

24 Jazz Preludes op.53 No.12,9,17
(Saxophone Quartet ver.)

Trio op.86

Intermission(20')

Concerto for saxophone and
orchestra op.50Concerto No.2 for piano and
orchestra op.14

I. Allegro molto

II. Andante

III. Toccata

●主催/公益財団法人東京交響楽団

楽曲解説はP.13をご覧ください

SUMINO Hayato

Piano 角野隼斗 [ピアノ]

2018年、東京大学大学院在学中にピティナピアノコンペティション特級グランプリ受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにポーランド国立放送響、ボストン・ポップス、ハンブルク響、N響、読響など、国内外のオーケストラと多数共演。CASIO電子楽器アンバサダー、スタインウェイアーティスト。*Cateen(かていん)名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数が135万人を突破。現在は、拠点をニューヨークに移すなど、世界各地で活動を行っている。2024年、ベルリンに本拠を置くSony Classicalと専属レコーディングのワールドワイド契約を締結。クラシックのピアニストとして確固たる位置を築く一方、ジャンルの垣根を越えた音楽の探究心で知られる、唯一無二のピアニストとして注目を集めている。



©Ryuya Amano

Hayato Sumino began his professional music career by winning the Grand Prix at the PTNA Piano Competition in 2018. He garnered international attention in 2021 as a semi-finalist at the 18th International Chopin Piano Competition in Warsaw.

Sony Classical recently announced an exclusive recording contract with Sumino, adding him to their roster of internationally celebrated pianists. His debut album, scheduled for release in Autumn 2024, will feature a diverse selection of works by composers such as Bach, Fauré, Purcell, Sakamoto, and Sumino himself.

Sumino holds a Master of Engineering degree from The University of Tokyo Graduate School of Information Science and Technology. He has been recognized on the Forbes Japan 30 Under 30 list, became a Steinway Artist in 2021, and serves as an ambassador for CASIO electronic musical instruments.

UENO Kohei

Saxophone 上野耕平 [サクソフォーン]

茨城県東海村出身。東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位・特別大賞(史上最年少)。2014年第6回アドルフ・サククス国際コンクール第2位。現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ、ソリストとしてNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団 他、国内のほとんどのオーケストラと共演。NHK-FM「×(かける)クラシック」の司会、テレビ「題名のない音楽会」へ出演するなどメディアとの相性も良い。



©Yuji Ueno

音楽以外にも鉄道と車を愛し、深く追求し続けている。最新ソロアルバムは「Eau Rouge」(23年9月発売) <https://uenokohei.com>

Kohei Ueno intrigued the worldwide attention by winning 2nd prize at 6th Adolphe Sax International Competition in Belgium in 2014. He became the youngest first prize winner at the 28th Japan Wind and Percussion Competition. Kohei Ueno's latest recording is "Eau Rouge" released in 2023. Also, he has released 10 albums in total as a soloist, The Rev Saxophone Quartet, and Panda Wind Orchestra.

Born in Ibaraki, Japan, Ueno started the saxophone at the age of eight in his school band. He graduated from the Department of instrumental music at Tokyo University of the Arts. He had attracted public attention from an early age and made his debut while in school.

8/30 FRI.

Saxophone quartet

The Rev Saxophone Quartet

高校時代からコンクールやアカデミーなどで顔を合わせていた上野耕平、宮越悠貴、都築惇、田中奏一朗が、東京藝術大学で再会し、2013年にクワルテットを結成。クワルテット名の「Rev」とは、エンジンの回転などを意味する「Rev.」が由来。

音楽のもつ無限なエネルギーをメンバー4人が音として奏で、1つの方向へ疾走したい、という思いを込めている。全国各地でリサイタルやアウトリーチ活動など多岐にわたる演奏活動を行い、サクソフォン四重奏の更なる可能性を追求している。2023年に結成10周年を迎え精力的に活動中。



TAKEYAMA

Ai

Flute

竹山 愛

[フルート]

東響首席



©Nikogami

東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。ロームファンデーションの助成を得てミュンヘン音楽演劇大学Zertifikatsstudium Meisterklasseを修了。第79回日本音楽コンクール第1位(併せて岩谷賞)。第26回日本管打楽器コンクール第1位。第8回神戸国際フルートコンクール第3位など受賞歴多数。ソロアルバム「Plays Paris」「GATE」をリリースし、レコード芸術誌において共に準特選盤・特選盤に選出された。東京藝術大学及び洗足学園音楽大学非常勤講師。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席フルート奏者を経て現在東京交響楽団首席奏者。

SASANUMA

Tatsuki

Cello

笹沼 樹

[チェロ]

東響客演首席



©Nikogami

今最も大きな期待を集めている若手の一人。第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ARDミュンヘン国際コンクール、NYのYoung Concert Artists International Audition、東京音楽コンクール、日本音楽コンクールなどに優勝・入賞。ホテルオークラ音楽賞、学習院文化活動賞受賞。学習院大学文学部卒業、桐朋学園大学大学院修了。パリ・エコールノルマル音楽院プログラムエリート在籍。デビューCD「親愛の言葉」(レコード芸術特選盤)。使用楽器は1771年製C.F.Landolfi(宗次コレクション)。

OOI Takeshi

Conductor 大井剛史 [指揮]

東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者。東京藝術大学指揮科卒業、同大学院指揮専攻修了。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009~2016)、山形交響楽団指揮者(2009~2013)、同正指揮者(2013~2017)、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014~2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



©Ayano Shindo

ニコライ・カプースチン (1937 ~ 2020)

8つの演奏会用エチュード op.40

カプースチンが演奏活動から離れて作曲に専念し始めた1984年に着手され完成したピアノ曲。ジャズの様々なスタイルを取り込んだ斬新で技巧的、また親しみやすい作品として世界で最も多く演奏されている。

第1番「前奏曲」アレグロ・アッサイ ドラムのビートをピアノで表現するというアイデアが特徴的。ラテンのリズムを持つ32小節のメインテーマが、後半ではジャズの即興のように変奏される。ピアノの鍵盤を最大限に使ったフィニッシュが圧巻。

第7番「間奏曲」アレグレット 曲調は20世紀前半のストライド・スタイル。作曲者自身によれば、曲は途中から「[三度]のためのエチュード」に変貌していく。エチュードとスウィング・ジャズの見事な融合。

第8番「フィナーレ」プレスティッシモ テンポの速い2/2拍子の楽曲。小さなソナタ形式の構成を持つ。フィナーレにふさわしく技巧的でめくるめく音の流れが曲を駆け巡り、最後は力強いリズムで締めくくられる。

川上昌裕 Text by KAWAKAMI Masahiro

作曲：1984年／編成：ピアノ独奏

24の前奏曲 op.53 (サクソフォーン四重奏版)

1988年に作曲されたピアノのための作品。初版は「ジャズのスタイルによる24のプレリュード」というタイトルで出版された。24曲にはジャズのあらゆる要素やスタイルが意図的に使われている。24曲の調性配置は五度圏を巡る規則性を持って書かれたショパンの「24の前奏曲」に倣っている。サクソ四重奏団The Rev Saxophone Quartetが演奏するために、このメンバーの一人である宮越悠貴によって全24曲がアレンジされた。

第12番 嬰ト短調 アレグレット 動力的な曲で、導入とコーダ付きの二部形式。1つ目の主題にはベースギターの要素が感じられる。2つ目の楽想はジャズ風。コーダは導入のモチーフで閉じる。

第9番 ホ長調 レント 叙情的でゆったりした曲。一つの長い楽想が二回目は変奏して繰り返され、小さなコーダを持つ。

第17番 変イ長調 アレグレット スウィング・スタイルでダンサブルな楽曲。時にエロル・ガーナー風のスウィング・リズムがふさわしく思われる箇所もある。

川上昌裕 Text by KAWAKAMI Masahiro

作曲：1988年／編成：アルト・サクソフォーン独奏、ピッコロ1、フルート1、オーボエ1、クラリネット1 (バスクラリネット持替1)、ファゴット1、ホルン3、トランペット4、トロンボーン4、ティンパニ、ボンゴ、ドラムセット、ギター、ベースギター、ハーブ1、ピアノ、弦5部

フルート、チェロとピアノのための三重奏曲 op.86

カプースチンに特有のクラシック音楽の複雑さとジャズの自発性やリズムの活力が見事に融合した音楽。フルート、チェロ、ピアノの楽器の特性がそれぞれ最大限に生かされ、素晴らしい一体感とカプースチンの室内楽作品の魅力を生み出している。曲は3つの楽章から成る。

第1楽章 アレグロ・モルト 活気に溢れたシンコペーションのリズムと楽器間のダイナミックな相互作用が特徴的。フルートとチェロは、ピアノの力強いハーモニーと複雑なテクスチャーに支えられて生き生きした対話を繰り広げる。

第2楽章 アンダンテ 前の楽章とは対照的に、内省的で叙情的な楽章。長く流れるような旋律線を持ち、チェロとフルートが交互にメインテーマを演奏しアンニュイな雰囲気を出していく。

第3楽章 アレグロ・ジョコーソ カプースチンの名人芸とジャズへの愛着に満ちあふれた音楽。素早いパッセージや爽快なリズム、遊び心のある音楽的やり取りがスリリングな効果を生み出す。

川上昌裕 Text by KAWAKAMI Masahiro

作曲：1998年／編成：フルート、チェロ、ピアノ

8/30 FRI.

ニコライ・カプースチン(1937～2020)

サクソフォーン協奏曲 op.50

すでに3曲のピアノ協奏曲が作曲されていたが、この作品はピアノ以外の他のソロ楽器のために書かれた最初の協奏曲となった。曲は通常のオーケストラにビッグバンドや打楽器群(ティンパニ、ドラムセット、ボンゴなど)、ギター、ハープ、ピアノなどが加わる比較的大きな編成で作曲されている。作曲から15年を経てアレクセイ・ヴォルコフのソロによって初めて演奏され、日本でCDがリリースされた。その後長く演奏される機会がなかったが、2017年以降ようやくライブでの演奏がいくつか聴かれるようになった。また作曲者自身が作曲後すぐに文化省で演奏するために作成したピアノ・リダクション版による演奏も最近は多く見られる。

曲は単一楽章。オーケストラとサクソによる開放的で静かな雰囲気の前奏が始まるとすぐに主要主題が現れる。やがて「Swinging(スウィングして)」と指示された音楽に移行するが、ここでは12/8拍子の枠組みで三連符的なスウィング・リズムが基調。続いてすぐジャズ・ロック風のリズムになって音楽が展開していく。このリズム上で16ビートで奏されるサクソスのメロディパッセージはこの曲の魅力の一つだろう。リズム上はおもにこの二つの音楽が交互に展開していく。作曲者によれば、ビッグバンドが入ってもサクソスのソロは常に美しくブレンドし、ソロがきちんと明確に聴こえるようにオーケストレーションされているという。曲の最終章では、また最初のテンポに戻って冒頭主題が回想された後、もう一度「アレグロ・モルト」になって曲の終結へと向かう。

川上昌裕 Text by KAWAKAMI Masahiro

作曲:1987年

編成:アルト・サクソフォーン独奏、フルート1、ピッコロ1、オーボエ1、クラリネット1、バスクラリネット1、ファゴット1、ホルン3、トランペット4、トロンボーン4、ティンパニ、ボンゴ、ドラムセット、ギター、ベースギター、ハープ1、ピアノ、弦5部

ニコライ・カプースチン(1937～2020)

ピアノ協奏曲 第2番 op.14

カプースチンはモスクワ音楽院卒業後すぐにオレグ・ルンドストレームのジャズ・オーケストラ(ビッグバンド)に所属して演奏活動をしていたが、1972年からボリス・カラムイシェフのオーケストラと新たに仕事を始める。この協奏曲はその直後に完成した作品。カラムイシェフのオーケストラと作曲家自身の演奏によってCD録音された。全6曲のピアノ協奏曲の中でこの作品が最も頻繁に演奏されている。ビッグバンド寄り(サクソ、ギター、ドラムセットなどを含む)のオーケストラ編成で3つの楽章から成る。ビッグバンドの要素とシンフォニックなスタイルが見事に融合した音楽で、オーケストラとピアノのリズムの掛け合いやアンサンブルの楽しさに満ちている。

第1楽章 アレグロ・モルト

導入とともにすぐピアノが合流し、4/4拍子のドラムのビート上に快活でポップな音楽が始まる。二つの主要なメロディーが全体を作っている。ピアノソロによる小さなカデンツァ風の箇所が見られもするが、全体としてはコンパクトな構成になっている。

第2楽章 アンダンテ

オーケストラの伴奏に乗ってピアノがゆったりとメロディーを奏でていく。冒頭8/8拍子(=3+2+3拍子)で始まり、途中からは拍子が3/4拍子になる。その後オーケストラと一体となってテンポは上がっていくが、後半はまた最初の音楽に戻る。ここでソロピアノは美しく修飾されて奏される。

第3楽章「トッカータ」 ヴィヴァーチェ

曲が開始してすぐにユニゾンによるハ短調の第一主題が提示される。4拍子のリズム上でピアノはトッカータ風パッセージを延々と続けるが、やがて変ホ長調の第二主題が現れる。このトレモロから開始するバラライカ風の音型は、後に作曲される『ピアノ協奏曲第3番』でも見られる。この二つの主題がコーダにいたるまで全楽章を通じて支配している。

川上昌裕 Text by KAWAKAMI Masahiro

作曲：1972年

編成：ピアノ独奏、フルート1、クラリネット1、アルト・サクソフォーン2、テナー・サクソフォーン1、バリトン・サクソフォーン1、トランペット4、トロンボーン4、ドラムセット、ギター、弦5部

8/31 SAT.

第723回 定期演奏会

2024年8月31日(土) 18:00サントリーホール

Subscription Concert Series No.723

Sat. 31st. August 2024, 18:00 Suntory Hall

原田慶太楼 [指揮]

角野隼斗 [ピアノ]

熊木夕菜 [ソプラノ]

東響コーラス [合唱]

根本卓也 [合唱指揮]

小林壱成 [コンサートマスター]

HARADA Keitaro, Conductor

SUMINO Hayato, Piano

KUMAKI Yuma, Soprano

Tokyo Symphony Chorus, Chorus

NEMOTO Takuya, Chorusmaster

KOBAYASHI Issey, Concertmaster

上田素生: 儚い記憶は夢となって (11')

UEDA M.: Dreams of Vague

Memories (11')

ガーシュウィン: ピアノ協奏曲 ヘ調 (32')

G.GERSHWIN: Concerto in F (32')

I. アレグロ

I. Allegro

II. アダージョ - アンダンテ・コン・モート

II. Adagio - Andante con moto

III. アレグロ・アジタート

III. Allegro agitato

ペルト: 主よ、平和を与えたまえー

A.PÄRT: Da pacem Domine for

混声合唱と管弦楽のための (5')

Choir and Orchestra (5')

プーランク: グローリア FP.177 (25')

F.POULENC: Gloria FP.177 (25')

I. 神に栄光がありますように

I. Gloria

II. 私たちはあなたを誉め

II. Laudamus te

III. 主なる神よ

III. Domine Deus, Rex caelestis

IV. 唯一の御子である主

IV. Domine Fili unigenite

V. 主なる神よ、神の子羊よ

V. Domine Deus, Agnus Dei

VI. 父の右に座しておられる方よ

VI. Qui sedes ad dexteram Patris

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

原田慶太楼のプロフィールはP.04をご覧ください

角野隼斗のプロフィールはP.11をご覧ください

楽曲解説はP.19をご覧ください



KUMAKI Yuma

Soprano **熊木夕茉** [ソプラノ]

大阪教育大学教員養成課程小中教育専攻教育コース卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。第27回KOBE国際音楽コンクール本選にて第2位、同時に兵庫県文化協会賞、第25回姫路パルナソスコンクールにて第2位、第7回豊中音楽コンクール大学・一般の部にて第2位など、多数の賞を受賞し、受賞者記念コンサートにも出演。オペラでは「こうもり」アデーレ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ等の役を演じる。2024年11月には日生劇場NISSAY OPERAドニゼッティ「連隊の娘」のマリー役(主演)にてオペラデビューを予定。これまでに浦田恵子、日紫喜恵美の各氏に師事。



©GODA

KUMAKI Yuma graduated from Kyoto City University of Arts, Graduate School of Music, majoring in vocal music. She won the second prize at the 27th KOBE International Music Competition. At the same time, she was awarded the Hyogo Prefecture Cultural Association Prize. Second Prize at the 25th Himeji Parnassus Competition. Second prize at the 7th Toyonaka Music Competition in the college and general sections. She has performed the roles of Adele in "Die Fledermaus", Adele in "La bohème", etc. in opera. She is scheduled to star as Marie (lead role) in "NISSAY OPERA 2024 Donizetti's "Daughter of the Regiment" at the Nissay Theatre in November 2024.

NEMOTO Takuya

Chorusmaster **根本卓也** [合唱指揮]

東京藝術大学大学院修士課程(指揮)及び、国立リヨン高等音楽院(通奏低音)修了。

英独仏伊はもちろんのこと、ロシア語・チェコ語・ラテン語・ヘブライ語に至るまで、歌詞を原文で解する類稀な才能により、新国立劇場を始め、東京二期会・OMF・ニッセイオペラ等、国内主要団体で音楽スタッフとして、合唱指揮・ディクションコーチ・作品レクチャー講師ほか多岐にわたり活躍。チェンバロ奏者・作曲家としての顔も持つ。HP:<http://nemototakuya.info/>



NEMOTO Takuya obtained an MMus in conducting from Tokyo University of the Arts. He earned a diploma in basso continuo at Conservatoire National Supérieur de Lyon (France). As a student, he had grasped various theatrical works in their original languages, such as English, German, French, Italian, Czech, and even Latin. His singular capability for diction coaching makes him an integral presence in the industry, having been already engaged for hundreds of performances by New National Theatre Tokyo and other key opera companies in Japan.

8/31 SAT.

Tokyo Symphony Chorus

Chorus 東響コーラス [合唱]

1987年に東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」ことを目的としている。指導には、演奏する楽曲の背景や歌詞に使用されている言語に精通した合唱指揮者、発声指導者、伴奏ピアニスト、言語指導者を招いている。公演毎に出演者を決定するオーディションを行うことで、常に演奏の質を高めている。2020年には第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「室内楽・合唱部門」受賞。

コロナ禍によりしばらくの活動休止期間を経て、2021年9月「名曲全集」にて東京交響楽団と2年ぶりの共演。音楽監督ジョナサン・ノットと2年半ぶりの共演となった2022年5月「ウォルトン：ベルシャザールの餐宴」、同年12月「ベートーヴェン：交響曲第9番」は絶賛を博した。

メンバー表

- 合唱指揮：根本卓也
- 稽古ピアニスト：古瀬安子
清水綾
- 発声指導：大沼徹、高橋淳
武内朋子、辻裕久
中山美紀

- 委員長 岡邦子 (Sop.)
- 副委員長 鳥居順子 (Sop.)
奥貫壮史 (Ten.)
堀浩史 (Bas.)

- パートリーダー
- Sop. (正) 遠藤由理
(副) 佐藤由紀子
- Alt. (正) 水越睦美
(副) 岡橋麻衣、齋藤由紀
- Ten. (正) 枇杷高志
(副) 内山誠彦
- Bas. (正) 水野敬
(副) 竹内誠治、早川克己

- コーラス委員
- Sop. 本行佳奈、増淵由佳
森田恵子
- Alt. 藤崎幸子、鎗水みお
吉村美恵子
- Ten. 木村健、田戸陽一
- Bas. 篠田一朗、富岡光
西村真

Soprano

相田奈寿紀
石井眞穂
石村友希子
伊藤貴子
岩元邦子
内野英子
遠藤由理
大貫由香
岡邦子
小笠原美貴
小田切明子
川之上裕美子
草野真由美

車伸恵
五味川裕美
佐藤深雪
佐藤由紀子
島崎尚美
鈴木美和
瀬沼紀子
武田美香
都築靖子
鳥居順子
仁平朋子
東原なお
平川暢子
平田菜

藤記富子
藤崎佳美
本行佳奈
増淵由佳
武藤弘美
森田恵子
森本由希
山下由美子
山田美生子
山津裕美
山之内文子
吉井真祈
六井菜月

Alto

東恭代
伊藤弥緒乃
糸永怜奈
大島裕美子
岡橋麻衣
岡本いつか
尾崎いづみ
小名雅恵
垣花亜妙子
加藤由美子
菊池万美子
木内道子
工藤有子

小林朋子
小張さゆり
齋藤由紀
坂元靖子
坂本タカ子
関口あずみ
高田恵子
田中美樹
谷郁
筒井敬子
外山恭子
福島里美
藤崎幸子
藤盛美恵
堀西香織
水越睦美
山下裕美
山邊伸子
鎗水みお
吉井久美子
吉岡美佳子
吉村美恵子
和田真理
渡邊朋子
渡邊史恵

Tenor

有馬猛

五十嵐建平
内山誠彦
大崎純
大関健史
小川英樹
奥貫壮史
奥村博康
菅野広和
木村健
鈴木徹也
竹田忍
竹本大祐
塚本隆
佃浩一
中原裕幸
名塩優
西宏隆
野口晃
枇杷高志
穂谷岳征
増淵隆
水谷剛久
水谷晴彦
和田敏

Bass

荒木康司
安藤志津夫

大足史郎
岡野一哉
河村太郎
菊池靖
木内正則
桑津賢士
河野愛
小沼敬四郎
小山治彦
篠田一朗
杉山慎二
竹内誠治
仲恭令
西村真
花田和彦
早川克己
平川尚義
堀浩史
松木望
宮坂知明
守谷隆一
矢野通
山口卓
山崎弘光
山之内達也

渡辺理公男

上田素生(1998～)

儂い記憶は夢となって

少年期から今に至るまで、睡眠時に見る「夢」に強く惹かれています。私にとって夢は映画を見るような感覚です。夢はよりリアルに切迫しており、臍気ながら五感で享受することも出来る、大変魅力的な体験です。目が覚めてもあと引くほどに、感情も大きく揺さぶられます。本作は、もう思い出すこともなくなったような記憶がふと夢となって出る時の、あの得も言われぬ心情を再現するべく作曲しました。それは、儂い記憶がほとんど空想のようになって現れた記憶の中の「あの頃」であり、あるいは、強く願い遂に得られなかった時間なのかもしれません。切なくも、本当に心地よい体験なのです。

曲はソナタ形式、とりわけベートーヴェンに代表される主題労作と呼ばれる手法をヒントに、夢の元となる記憶を主題になぞらえ、その主題を元にした音楽によって曲全体が構成されています。序奏は映像がまだ定まらない時間。ヴァイオリンソロによる主題はオーケストラ全体で大きく揺らぎ、悠久の時を思わせる第二主題へ。展開部では、ほとんど前後関係が分断された場面転換が、まさに切り替わる夢のごとく演奏されます。このように、夢そのものを音楽によって表現することで、夢の体験を擬似的に得ることを目指した創作です。この音楽を聴くことが夢を見るような体験となることを目標に、夢の浮遊感や心地よさの表現に特に注力しました。この曲が、夢の再現を目指す創作の大きな一歩である事を確信しています。

昨年の初演に続きまして再び演奏機会をいただけますこと、作曲家として至上の喜びです。このような機会を下さった東京交響楽団の皆様、原田慶太楼マエストロ、また全ての関係者の皆様、聴いてくださる皆様に深く感謝申し上げます。

上田素生 Text by UEDA Motoki

作曲：2023年

初演：2023年8月5日荘銀タクト鶴岡大ホール、原田慶太楼指揮、山形交響楽団

編成：ピッコロ1、フルート1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、シンバル、むち、小太鼓、トライアングル、ビブラフォン、グロッケンシュピール、大太鼓、ウッドブロック、弦5部

8/31 SAT.

ジョージ・ガーシュウィン(1898～1937)

ピアノ協奏曲 ヘ調

古き良き時代のジャズのテイストとクラシックのフォルムが高みで出逢った名協奏曲を聴く。

1920年代、30年代のアメリカ音楽界を駆け抜けたジョージ・ガーシュウィンの“ピアノ・コンチェルト”と言えば、人気バンドリーダーだったポール・ホワイトマンの委嘱により1924年に作曲され、グローフェのバンド編曲およびオーケストレーションも功を奏した「ラプソディ・イン・ブルー」が愛されている。“現代音楽の実験”コンサートで初演された「ラプソディ・イン・ブルー」は、当時ニューヨークを拠点としていた、そうそうたる音楽家を魅了した。ニューヨーク交響楽団の指揮者ウォルター・ダムロッシュもその一人で、彼はガーシュウィンに続編を委嘱する。

それが、当初は「ニューヨーク協奏曲」と題されていたピアノ協奏曲ヘ調=コンチェルト・イン・Fだ。1924年から翌春にかけてミュージカル劇場との契約を抱え多忙を極めていたガーシュウィンだったが、彼は音楽理論や作曲法を学び直し、オーケストラパートも今度は人任せにせず自分で書く。完成直前には50数名のミュージシャンを自費で雇い、グローブ劇場を借り切り試演奏まで敢行。委嘱者ダムロッシュのアドバイスにも従った。完成度に万全を期したのである。

曲は1925年12月に自身のピアノ、ダムロッシュ指揮ニューヨーク響によりカーネギーホールで初演され、大好評を博す。なおニューヨーク響はその3年後、ライヴアルだったニューヨーク・フィルハーモニック(現名称)に吸収合併される。

心も躍る第1楽章には、1920年代のアメリカで旋風を巻き起こしていたエスニック・ダンス「チャールストン」のリズムが添えられた。変二長調の第2楽章を彩るのは、ラヴェルも愛した「ブルース」のフォーマット。五線譜にb5つの変二長調は、スラヴやユダヤ系の作曲家が愛や夢を奏でる時に好む調性だ。そして音楽の喜びが駆け巡る第3楽章へ。エンディングには第1楽章の主題も回帰する。

第1楽章:アレグロ

第2楽章:アダージョ～アンダンテ・コン・モート

第3楽章:アレグロ・アジタート

奥田佳道 Text by OKUDA Yoshimichi

作曲:1924～25年

初演:1925年12月カーネギーホールにて、作曲者自身の独奏、ダムロッシュ指揮、ニューヨーク交響楽団

編成:独奏ピアノ、ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット2、バスクラリネット1、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、パステューバ1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、大太鼓、小太鼓、銅鑼、グロックンシュピール、木琴、弦5部

アルヴォ・ペルト(1935～)

主よ、平和を与えたまえ—混声合唱と管弦楽のための

ホールを満たすのはDa pacem Domine(ダ・パーチェム・ドミネ)—ラテン語の祈りの言葉／交唱歌で、オーケストラも絶妙に寄り添う。北欧バルト三国のひとつ、エストニアの鬼才アルヴォ・ペルトの逸品を聴く。

孤高の存在感を誇るペルトは首都タリンの音楽院で学び、1961年、前衛的な音列(セリー、複数の音を一定の秩序にしたがって配列した作曲技法)を駆使したく独唱、合唱、管弦楽のためのオラトリオ「世界の進歩」>で、当時エストニアを併合していたソヴィエト(1991年まで存在した社会主義共和国連邦)の音楽界に名乗りを上げる。ペルトこのとき36歳。「西側」ではまだ無名だった。

その後芸術的な自由を求めてウィーンへ移住。1980年代はベルリンを拠点とする。2010年に母国エストニアに帰国、タリン近郊には演奏、教育の場でもあるくアルヴォ・ペルト・センター>も建てられた。

音楽面では、前述の音列技法に代表される前衛的な作風で頭角を現したペルトだったが、1970年代中葉以降、当時の前衛と決別。グレゴリオ聖歌、14世紀から16世紀の再生的な文化運動と連動したルネサンス音楽、さらにバロックや古典派の調性音楽を交えながら、静謐なハーモニーとリズムを主体としたティンティナブリ(鈴鳴らし)様式にたどり着き、神秘的、瞑想的な作品を紡ぎ始める。

ティンティナブリとは、鈴や鐘を指すラテン語ティンティナブルム(tintinnabulum)に由来する造語だが、ペルトが目指したのは、鈴や鐘の音の模倣でも再現でもない。

弦楽や金管版も知られる「主よ、平和を与えたまえ」は2004年7月、スペインはバルセロナでの平和祈願コンサートで無伴奏合唱曲として初演された。ペルトは同年3月13日に作曲を始めている。その二日前にマドリードで発生した列車爆破テロ事件(オンセ・デ・エメ=3・11事件)の犠牲者191名に捧げられた音楽で、楽譜冒頭にPacato(パカート、穏やかに)と記されている。管弦楽の編成は思いのほか大きく、ペルト作品に欠かせないチューブラーベル(鐘)、大太鼓も、さりげなく要所を担う。

奥田佳道 Text by OKUDA Yoshimichi

作曲:2004年

初演:2004年7月バルセロナ

編成:フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、チューブラーベル、弦5部、混声合唱

8/31 SAT.

フランシス・プーランク (1899 ~ 1963)

グローリア FP177

光彩陸離とした響きが舞う。作曲者は、洒脱で明晰な筆致も際立つこの宗教曲を「規模の大きな交響的コラール」と呼んだ。

生粋のパリジャン、フランシス・プーランクは実に様々な顔を持つ作曲家である。子どもがおもちゃ箱をひっくり返したかのような無邪気この上ない響き。劇場やカフェ、ダンスホールのざわめき、ときめきを映し出す妖しくもリズムミッドな調べ。教会での聖歌や祈りの情趣に満ちた味わい深い音楽。いずれも素晴らしい。

エリック・サティとジャン・コクトーを芸術上の父と仰ぐ「フランス6人組」のひとりだった。ジャンルを超えた芸術家や劇場人、パトロンと交友、ピアノの名手でもあった。バレエ・リュス(ロシア・バレエ団)を主宰したディアギレフ、ガーシュウィンを高く評価したストラヴィンスキーとの関わりも私たちを喜ばせる。

そんな多彩な顔をもつプーランクが、米クーセヴィツキー財団からの委嘱話と呼応するかのよう1959年から翌年にかけて作曲したのが「グローリア」である。テキストはもちろんラテン語の「ミサ通常文」で神を賛美する内容だが、オペラやコンチェルト、室内楽で培った、きらびやかな音彩も主役を演じる。

1961年1月にボストンのシンフォニーホールでシャルル・ミュンシュ指揮ボストン交響楽団、プロ・ムジカ合唱団、アデーレ・アディソンのソプラノにより初演された。なおミュンシュとボストン響は1950年にプーランクのピアノ協奏曲(ソロは作曲者自身)も初演している。

第1曲 神に栄光がありますように 冒頭から動きのある宗教曲だ。

第2曲 私たちはあなたを誉め シンコペーション・リズムも粋。この曲、パリ初演時にスキャンダルとなったが、プーランクは織り込み済みだった。

第3曲 主なる神よ 下降する木管楽器のフレーズが美しい。ソプラノ・ソロが登場。

第4曲 唯一の御子である主 ディヴェルティメント風に始まる。

第5曲 主なる神よ、神の子羊よ 神秘的な情趣が立ち昇る。ソプラノ・ソロが登場。

第6曲 父の右に座しておられる方よ 声楽とプーランクも相愛。ソプラノ・ソロを交えた対話的なフィナーレで、清らかなオペラの幕切れを思わせる。アーメン。

奥田佳道 Text by OKUDA Yoshimichi

作曲:1959 ~ 60年

初演:1961年1月ボストン、シャルル・ミュンシュ指揮、アデーレ・アディソン独唱、プロ・ムジカ合唱団、ボストン交響楽団

編成:ソプラノ独唱、フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ3(イングリッシュホルン持替1)、クラリネット3(バスクラリネット持替1)、ファゴット3(コントラファゴット持替1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、ハープ1、弦5部、混声合唱

ペルト：主よ、平和を与えたまえー混声合唱と管弦楽のための

Arvo Pärt: Da pacem Domine for choir and orchestra

[歌詞対訳]訳:三ヶ尻 正

Da pacem, Domine, in diebus nostris
quia non est alius
qui pugnet pro nobis
nisi tu Deus noster.

主よ、私たちの日々に平和を授けて下さい。
私たちのために
戦ってくれるのは
あなたをおいてほかに誰もいないのですから。

プーランク：《グローリア》Poulenc: "Gloria"

[歌詞対訳]訳:三ヶ尻 正

I. Gloria

Gloria in excelsis Deo.
et in terra pax
hominibus bonae voluntatis.

I. 神に栄光がありますように

天のいと高きところでは神に栄光がありますように。
そして地上では善意の人に
平和がありますように。

II. Laudamus te

Laudamus te. Benedicimus te.
Adoramus te. Glorificamus te.
Gratias agimus tibi
Propter magnam gloriam tuam.

II. 私たちはあなたを誉め

私たちはあなたを誉め、あなたを祝福し、
あなたを拝し、あなたをあがめ、
あなたの大きいなる栄光のゆえに
あなたに感謝を捧げます。

III. Domine Deus

Domine Deus, Rex caelestis,
Deus Pater omnipotens.
Gloria.

III. 主なる神よ

主なる神よ、天の王よ
全能の父なる神よ。
神に栄光がありますように。

IV. Domine Fili unigenite

Domine Fili unigenite Jesu Christe!
Domine Deus unigenite, Jesu Christe!
Domine Fili unigenite Jesu Christe!

IV. 唯一の御子である主

唯一の御子である主、イエス・キリストよ!
唯一の神である主、イエス・キリストよ!
唯一の御子である主、イエス・キリストよ!

V. Domine Deus, Agnus Dei

Domine Deus, Agnus Dei,
Filius Patris.
Rex caelestis Deus.
Qui tollis peccata mundi,
miserere nobis.
Qui tollis peccata mundi,
suscipe deprecationem nostram.

V. 主なる神よ、神の子羊よ

主なる神よ、神の子羊よ、
父の御子よ、
天の王なる神よ、
世の罪を取り除いて下さる方よ、
私たちを憐れんで下さい。
世の罪を取り除いて下さる方よ、
私たちの願いを聞いて下さい。

VI. Qui sedes ad dexteram Patris,

Qui sedes ad dexteram Patris,
miserere nobis.
Quoniam tu solus Sanctus
Tu solus Dominus.
Amen.
Tu solus Altissimus,
Jesu Christe.
Cum Sancto Spiritu
in gloria Dei Patris.
miserere nobis.
Amen.

VI. 父の右に座しておられる方よ

父の右に座しておられる方よ、
私たちを憐れんで下さい。
あなただけが聖なる方であり、
あなただけが主です。
アーメン。
イエス・キリストよ、
あなただけがいと高き方です。
聖霊とともに、
父なる神の栄光のうちに。
私たちを憐れんで下さい。
アーメン。

【許可のないコピー・転載は法律で禁止されています】

Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

秋山和慶、指揮者生活

60周年

～来る9月定期演奏会に寄せて～

岩野裕一(音楽ジャーナリスト)

東京交響楽団の常任指揮者・音楽監督を長らくつとめ、現在は桂冠指揮者の地位にある秋山和慶が、今年(2024年)、指揮者生活60周年を迎えた。

60周年と、ひとことで言うのはたやすいが、今年5月下旬から6月上旬にかけて、骨折のアクシデントでいくつかの公演をキャンセルしたのは例外中の例外で、秋山が健康に恵まれ、高い音楽性と能力をもって常にオーケストラと結果を出し続けてきたことは、驚異的というほかない。

名教師・齋藤秀雄のもと、桐朋学園大学で学んだ秋山は、1963年秋に東京交響楽団の専属指揮者となり、翌64年2月に正式デビューを果たした。ところがその直後に、スポンサーの民間放送局が支援を打ち切ったことで楽団の経営が破綻し、東響は自主再建の茨の道を歩むことになる。

否応なく渦中に巻き込まれた秋山は、「とにかく無我夢中で、次々に勉強しては本番を重ねるうちに、髪の毛があっという間に真っ白になってしまった」という。楽

団にはお金がなくて、「練習場にあった公衆電話の中に溜まっていた10円玉を、みんなで山分けしたこともありました」というから、その苦労は並大抵のものではなかったはずだ。

だが、多いときには1年間で100回を超える演奏会を指揮したことで、若き日の秋山はレパートリーの基礎を実地に短期間で築き上げ、その後の飛躍へと繋げていく。

日本においては東響と、長らく首席客演指揮者をつとめた大阪フィル、音楽監督を経て現在は終身名誉指揮者の地位にある広島交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団、日本センチュリー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団など、全国のオーケストラで要職を歴任。海外では大指揮者ストコフスキーのあとを受けたアメリカ交響楽団や、カナダのバンクーバー交響楽団、アメリカのシラキューズ交響楽団で音楽監督をつとめた秋山が、デビューからの60年間で指揮した回数は、ご本人によれば「およそ4300回」という。

しかもその間、母校の桐朋学園大学や洗足学園音楽大学で教鞭を執り、数多くの後進を育て、この15年間ほどは滋賀県栗東市で「さきらジュニアオーケストラ」の指導に情熱を燃やしているのだから、その音楽への愛情と真剣さには頭が下がるというほかない。

さて、約4300回のうち、秋山が東京交響楽団を指揮した回数は、事務局の調べによると1350回。もちろん東響の歴代指揮者としては最高の登場回数で、60年に及ぶ「秋山=東響」の名コンビは切っても切れない関係にある。

この両者が成し遂げた偉業として、まず筆頭に挙げられるのは、定期演奏会において近現代のオペラを含む声楽付き大規模作品の数々を日本初演したことであろう。1994年のシェーンベルク「モーゼとアロン」(第400回)を皮切りに、1997年のシェーンベルク「ヤコブのはしご」(第440回)とヤナーチェク「利口な女狐の物語」(第443回、原語による日本初演)、2000年のラッヘンマン「マッチ売りの少女」(第467回)、2003年(第501回)のジョン・アダムズ「エル・ニーニョ」、ヤナーチェク「死者の家から」(第509回)、2004年のヘンツェ「裏切られた海」(第516回)と、このラインナップを見れば、50代から60代にかけての秋山の凄みを感じられるだろう。

2004年7月、念願の本拠地となったミューザ川崎シンフォニーホールのこけら落としでマーラーの「一千人の交響曲」を指揮したのも、もちろん秋山であった。この

年に音楽監督を勇退してからも東響との関係は続き、2015年には指揮者生活50周年の記念演奏会を、デビューコンサートと全く同じプログラム(ラヴェル：ダフニスとクロエ第2組曲、チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲、ブラームス：交響曲第2番)で祝っている。

その後の10年間においては、毎年恒例の「ニューイヤ・コンサート」や、ミューザ川崎主催の「オーケストラで楽しむ映画音楽」「MUZAジルベスター・コンサート」といった、ビギナーも多い公演に力を注いでいる。音楽を心から楽しみ、その喜びを聴衆に伝えるマエストロの姿は誠実そのものだ。

定期演奏会においては、秋山の十八番であるエルガーの交響曲第1番(2015年、第627回)や、あえて定期で真正面から挑んだブラームスの交響曲第1番(2022年、第697回)が、巨匠の名にふさわしい名演であった。また、秋山とバッハというのは意外かもしれないが、半世紀に及ぶ絆で結ばれた東京アカデミー合唱団の公演で聴いた「口短調ミサ曲」(2022年)の、東響との滋味あふれる演奏も忘れ難い。

80代も半ばにさしかかり、さらなる高みをめざす秋山が創る音楽を聴くことができるのは、聴衆にとって何より幸せなことである。9月の60周年記念定期で取り上げられるブルックナーの交響曲第4番は、東響の歴史に残る名演となるに違いない。私たちもホールに足を運んで、共に祝おうではないか。(敬称略)

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社すかいらーくホールディングス
株式会社ティーワイ リミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鹸株式会社
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーシンパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社

*税理士法人渡邊芳樹事務所

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社



©N Ikegami

ご芳名 (敬称略)

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(7月22日現在、五十音順)。

個人会員

サークル50

伊藤 晴美	杉山 啓次
伊藤 美樹	長瀬 雅則
沖田 陽子	山口 積恵
鷺海 暈明	山口 知子☆
木暮 紀子	山口 学
澤田 秀雄	横川 端
清水 尚彦	匿名 3名

☆名誉パトロン

サークル25

石川 晴依世	鈴木 信恵
猪田 隆文	手塚 和彦
井上 孝昭	戸川 二郎
岡野 一哉	平山 智史
加藤 英輔	山本 誠一郎
後藤 実	匿名 3名

サークル10

天野 佳和	高野 幸一
新井 祥一	高橋 佐智子
荒木 陽子	高嶋 琢己
五十嵐 建平	高家 正行之博
井澤 菜緒子	田口 忍
岩田 新彦	竹田 建一
内山 誠彦	田中 啓
梅沢 麻衣	谷川 明雄
遠藤 秀和	谷藤 清
大内田 由紀子	千葉 隆・直子
大城 明幹	角田 守正
大島 肇	中澤 豊
太田 純子	中村 倉祥
大塚 具幸	成瀬 公男
大場 潤一	西谷 純一
大類 浩	橋本 正希
岡 邦子	早川 美保子
片山 泰輔	原田 アーネ
片山 千栄	アースト M 比嘉
金山 尚弘	平川 尚義・暢子
金田 好生	枇杷 高志
木賀 賢市	正水 和久
菊池 光剛	増岡 聡一郎
木内 正則・道子	真野 美千代
小林 光	三浦 麻子
古丸 健	水越 睦美
近藤 和喜夫	満田 高久
斎藤 脩司	三橋 祐太
佐々木 真	峯岸 恭博
佐藤 大助	村本 信幸・京子
佐野 利勝	森 京子
渋谷 慎吾	森 健
清水 幹雄	森 優子
白井 恭一	森 国彦
高澤 美貴子	森下 昭
高田 光官	八 典彦
高津 麻子	山上 重雄

山本 明
吉井 久美子

吉村 美恵子
米岡 修一
匿名 13名

三橋 正典
村田 拓郎
安江 美穂
山田 敏之
山中 喜義

山之内 英明
鏡水 みお
横尾 順
古原 美紗恵
渡辺 敦郎
匿名 35名

フレンズ5

東 恭代	寺西 基之
有江 純子	中島 信男
石原 祥子	長谷川 泰弘
潮田 伊織	早川 利郎
大石 直輝	古庄 忠雄
大川 朋彦	松信 正志
奥秋 和彦	村松 秀幸
河野 愛彦	山口 聡
小林 義彦	山田 修造
斉藤 潤	山本 喜良
佐藤 信一郎	山吉 哲四郎
佐藤 利孝	和久井 良輔
塩澤 誠司	匿名 2名
高際 比呂志	

フレンズ1

■あ	瓜生 こずえ
相磯 剛	大川 剛
青木 買志子	大越 孝義
青野 隆正	大嶋 初彦
赤塚 大島	大島 康彦
秋元 太田	秋本 賀久
*朝倉 文男	*浅里 英司
浅里 郁夫	安達 佳子
*足立 めぐみ	阿部 由香
阿部 浩子	阿部 靖彦
阿部 百合子	阿部 公仁
井草 裕一	*生田 利昭
池田 誠子	石井 有希子
石井 由紀	石川 幸一郎
磯村 幸一	板橋 泰宏
井手 勉	伊藤 晴子
伊藤 宗功	伊藤 力雄
伊藤 順一	伊藤 康子
井上 正	*今井 由紀夫
猪瀬 邦男	今井 美知子
*今宮 知子	今村 裕
今村 裕	今村 淳子
岩澤 成吉	岩澤 順子
岩澤 由紀	岩野 裕一
岩野 洋子	上田 一成
潮田 重男	内海 真名子
内川 誠	内田 さゆり
内山 正芳	宇野 耕司
宇野 和秀	梅田 和秀

フレンズ3

*秋山 真一郎	佐藤 悦子
明田 重樹	佐藤 香
荒 洋一	佐藤 健司
有坂 あかり	清水 良枝
池田 一彰	杉田 弘也
石澤 卓志	鈴木 いく子
井上 聡	鈴木 忠明
*井上 聖恵	須田 眞理子
岩瀬 正明	関根 三善
白居 正昭	高石 祐次
梅本 千枝子	竹内 あゆみ
大北 元	田中 美貴子
大崎 純	谷原 万紀
大津 透	都築 豊
大塚 啓一	中村 元嗣
大埜 展男	中村 幸雄
大橋 昌資	長瀬 利明
小川 康恭	*浪川 淳子
奥瀬 篤	*成田 清美
奥田 桂子	西田 尚弘
小澤 俊文	根本 直
尾島 夕里	野口 敏己
小田切 明子	早川 克己
皆瀬 修	林 美奈子
加藤 由美子	春川 京子
兼子 伸彦	福田 昭子
狩野 裕基	福田 栄
菊池 綾洋	藤田 智雄
北川 盛弘	藤田 淑子
木下 幸男	藤野 盾臣
久保田 一徳	藤森 朗
倉谷 宏樹	藤舟 光代
小木 曾	星 直樹
古杉 紮	松下 一彦

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
~29,999円

フレンズ3

年額3万円
~49,999円

フレンズ5

年額5万円
~99,999円

サークル10

年額10万円
~249,999円

サークル25

年額25万円
~499,999円

サークル50

年額50万円~

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円~

シルバー

年額30万円~

ゴールド

年額50万円~

ダイヤモンド

年額100万円~

プラチナ

年額1000万円~

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい	法人会員	サークル 会員	フレンズ会員		
				フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内		○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)		○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)		○	○	○	○	○
ご芳名掲載		○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1		○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2		○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムシンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分^{*1}について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。^{*2}

^{*1}但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただきます。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ **TEL 044-520-1518**

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

NEWS & TOPICS

東京交響楽団 公式サイトがリニューアルオープン!

東京交響楽団の公式サイトがリニューアルいたしました。引き続き、様々な情報を発信してまいりますので、是非ご覧ください。

<https://tokyosymphony.jp/>

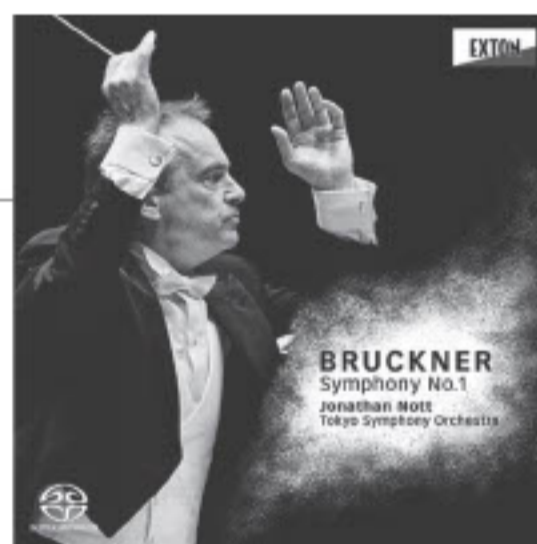


音楽監督ジョナサン・ノット指揮 「ブルックナー：交響曲第1番」 ライブ収録CDを発売中

ノット監督×東響「ブルックナー：交響曲第1番」のライブ収録CDを発売いたしました。会場の東響SHOPほか、オンライン支店でもお取り扱いがございます。

2023年10月21日

東京オペラシティコンサートホールにてライブ収録
3,500円(税抜)



子ども100名無料招待!クリスマスコンサート2024

文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業として、「12/25(水)クリスマスコンサート2024」に18歳以下のための無料鑑賞席を設け、ご招待いたします。

応募資格:公演当日18歳以下の方 2名様まで(未就学児不可)

募集人数:100名

募集方法:抽選

申込期間:9月5日(木)11:00 ~ 10月3日(木)18:00

申し込み方法・詳細は公式サイトからご確認ください。



NEXT PROGRAM

9/15 第138回 新潟定期演奏会
(日) 17:00 リューとぴあ 新潟市民芸術文化会館

※9/14(土)ミューザ川崎シンフォニーホールでも同プログラムで開催

：指揮：アンドレアス・オッテンザマー

：ヴァイオリン：中野りな

：ストラヴィンスキー：

：弦楽のための協奏曲 二調

：モーツァルト：

：ヴァイオリン協奏曲 第5番「トルコ風」

：チャイコフスキー：

：交響曲 第1番「冬の日の幻想」

S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000 D¥2,000



日本の至宝 秋山和慶 指揮者生活60周年

9/21 第724回 定期演奏会
(土) 18:00 サントリーホール

：指揮：秋山和慶

：ヴァイオリン：竹澤恭子

：ベルク：ヴァイオリン協奏曲

：「ある天使の思い出に」

：ブルックナー：交響曲 第4番

：「ロマンティック」

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,500 P¥3,000



珠玉の名曲 ブラームス1番

9/28 東京オペラシティシリーズ 第141回
(土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

：指揮：トンチエ・ツァン

：ヴィオラ：ティモシー・リダウト

：J.S.バッハ/マーラー編：

：管弦楽組曲 第3番より「アリア」

：ウォルトン：ヴィオラ協奏曲

：ブラームス：交響曲 第1番

S¥7,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500



東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ

公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、23年には《エレクトラ》が第1位に選出された。



Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. "Elektra in Concert Style(2023" won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of "Salome in Concert Style(2022)" on Ongaku no Tomo magazine as well as the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート
【5組10名の小・中・
高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
[TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION]
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT PROGRAMS
Symphony

Symphony 2024年(令和6年)8月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト